

要望書（回答）

1 アニメツーリズム事業の推進（新）

苫小牧市出身の三部氏が描く漫画「僕だけがいない街」は、アニメや映画が製作されている人気作品で、劇中には、白鳥王子アイスアリーナや科学センター等市内のスポットが随所に登場しております。今年度は市と共にスタンプラリー事業等を開催しましたが、道内外から多くのファンがロケ地巡りに本市を訪れ、製作した関連グッズの販売を含め、過去にない話題性と経済効果をもたらしていると実感しております。

また、他にも「機動警察パトレイバー」や「ダイヤのエース」等、本市と関連がある人気作品があることから、これらの素材を活用したアニメツーリズム事業について、本協会と共に取り組んで頂きますよう要望いたします。

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

「僕だけがいない街」については、昨年度よりスタンプラリー事業を開催、今年度は謎解きスタンプラリーとCOCOTOMAにてコラボカフェを開催しました。また、「機動警察パトレイバー」については、1988年から漫画、アニメ、小説、映画化されている作品で、主人公が苫小牧市出身の設定であることから、今年度は原作者2名を迎えてトークショーを開催しました。どちらの事業もファンの皆様から大変好評をいただいております。

「ダイヤのA」については、2006年から漫画、2013年からアニメ化されるなど、大変人気の高い作品であり、苫小牧出身の登場人物が活躍する高校野球を舞台とした漫画・アニメであるため、本市の知名度向上につながる新たな魅力の一つとして認識しております。

こうしたことから市としては、今後も貴協会と連携してアニメ作品等を活用したアニメツーリズム事業を展開し、更なる知名度向上や交流人口の増加に向けて、取り組んでまいりたいと考えております。

2 とまチョップ生誕10周年記念事業について（新）

苫小牧市公式キャラクター「とまチョップ」は、幅広い世代の方々に愛されるキャラクターとして成長しました。2021年には、誕生10年の節目を迎えることから、内外への更なるPRと謝恩の意を込めた記念事業の開催について、ご検討頂きますようお願いいたします。

【回答】（総合政策部まちづくり推進課 担当）

苫小牧市公式キャラクター「とまチョップ」は、平成23年（2011年）に誕生して8年余り経過しておりますが、現在も年間200件余りの出演依頼があるなど、今もお、多くの市民に愛されているキャラクターであると認識しております。

令和3年（2021年）には、「とまチョップ」の誕生から10年を迎えることになり、

現段階において記念事業等については未定となっておりますが、今後とも、様々なイベント等に出演させていただくなど、本市のPR大使として活動してまいりたいと考えております。

3 苫小牧市観光振興ビジョンに基づいた事業の推進（継続）

観光振興ビジョンに基づき、誘客促進に向けた諸事業を苫小牧市と共に実施しているところですが、継続と連動が重要であると認識しております。

また、2020年度は民族共生象徴空間の完成や東京五の輪催、苫小牧中央ICの新設が予定されており、本市への流入動態に大きく影響があると予想されます。

つきましては、観光インフラの整備や誘客事業の更なる取り組みについて、本協会及び関係機関と協働のもと推進して頂きますよう要望いたします。

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

「苫小牧市観光振興ビジョン」は、本市の特性や魅力を再認識し、長期的な視点で観光振興に取り組み、交流人口の増加による地域経済の活性化を目的として平成28年2月に策定されております。

本市といたしましては、ビジョンの実現に向けて取りまとめた実施事業計画に基づき、貴協会と連携して産業観光の推進や道外観光客誘客プロモーション活動の強化、外国人観光客受入セミナーの開催など、事業の推進を図ってきたところでございます。今後も、観光を巡る情勢の変化に対応するため、引き続き、貴協会をはじめ関係機関等との協働により、アニメツーリズムを含む幅広い施策を展開してまいりたいと考えております。

4 ふるさと納税返礼品受託事業の継続と強化（継続）

平成26年度より、ふるさと納税をしてくれた方に対し、お礼の品を送付しているところですが、本協会は返礼品の選定と送付業務等について当初より携わっております。

本市特産品と本協会会員事業者のPRに有効であると共に、本協会の財務基盤安定にも繋がることから、本事業のPR強化並びに受託業務の継続について要望いたします。

【回答】（総合政策部政策推進課 担当）

本市のふるさと納税におきまして、平成27年9月から平成29年3月までは苫小牧観光協会への返礼品配送業務を委託しており、その後は、返礼品の選定及び開発業務を担っていただいているところです。

法改正や制度の認知度向上、クレジット決済導入等のさまざまな要因により寄附件数が増加し、令和元年度は約4億円の寄附を見込んでおります。件数が大幅に増加しているため、平成30年4月より寄附の受付から返礼品発注等の処理業務まで一括して、対応可能な業者へ委託しております。

返礼品については、総務省から厳しい基準が示されていることから、観光協会の

知見が必要と考えており、引き続き、返礼品選定及び開発業務を依頼し、特産品及び事業者のPRに努めてまいります。さらには、広告掲載やサイトの増設等により本事業のPR強化を図ってまいります。

5 観光事業の推進体制の強化（継続）

本協会は平成3年7月に社団法人として認可を受け、その役割を担い、各種事業を展開して参りましたが運営状況は依然脆弱です。本市観光振興の一助を担うべく、事業の拡充と発展に向けて鋭意努力しておりますので、より一層のご理解とご支援をお願いいたします。

- (1) (一社) 苫小牧観光協会の運営に対し、人的・財政的支援の継続
- (2) 行政施策における観光事業の計画と協会事業の連携
- (3) 観光事業に関する各種補助事業及び助成事業等の情報提供と、それら事業申請・実施にむけた協力と支援

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

- (1) (一社) 苫小牧観光協会の運営に対し、人的・財政的支援の継続

本市といたしましては、観光振興を推進する上で、貴協会との緊密な連携は不可欠と認識しておりますことから、今後も、貴協会の運営に対しましては、職員の派遣や財政的な支援を継続してまいりたいと考えております。

- (2) 行政施策における観光事業の計画と協会事業の連携

「苫小牧市観光振興ビジョン」の推進に当たりましては、貴協会や関係機関等の御協力をいただきながら、社会経済情勢に即したニーズを的確に捉え、本市の観光振興につなげてまいりたいと考えております。

- (3) 観光事業に関する各種補助事業及び助成事業等の情報提供と、それら事業申請・実施にむけた協力と支援

本市といたしましては、貴協会の充実した事業展開に向けて、国の助成制度等に関する情報の共有を図るとともに、事業の実施に当たりましては、積極的に協力・支援を行ってまいります。